



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療

基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠



当院の将来と今後の展望

事業管理者

樋口 定信

地域住民の皆さまをはじめ関係医療機関並びに保健・介護・福祉関連施設の皆さまには、日頃より当院および関連施設の運営にご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、最近の地域医療を取り巻く状況は益々厳しくなっています。特に過疎地においては高齢化率の上昇と少子化による人口減少に歯止めがかかりません。

上天草市の人口は市発足時の32,502人から平成27年4月には27,197人と10年間で5,305人が減少、高齢化率も36%になっています。

このような状況の中で当院の今年の課題は平成27年度から都道府県が策定中の地域医療構想にどう対処するかということです。幸い天草地域の地域医療構想検討専門部会には、私と森看護部長が委員として出席していますので、上天草地域の現状と必要な医療機能、必要な病床数等につき、積極的に発言していきます。

➤ ここで地域医療構想の内容について簡単に説明します。

1. 2025年の医療需要(推計入院患者数)と病床の必要量(必要病床数): 都道府県内の構想区域(二次医療圏)単位で、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の各機能、在宅医療等を推計
2. 2025年のあるべき医療提供体制を実現するための施策(例)医療機能の分化・連携を進めるための施設整備、医療従事者の確保・養成等

以上が地域医療構想の主な内容ですが、当院にとっての影響が大きいことは、2025年の天草地域における必要病床数がどうなるかということです。必要病床数は、一般病床の患者のNDBのレセプトデータやDPCデータを分析して推計されたものです。

その推計を見ますと2025年の天草地域の必要病床数は2014年の2569床が1396床と1163床減少していま

す。特に慢性期病床(療養病床)は1419床から411床と1008床の減少となっています。推計の数字通りになれば、現在療養病棟に入院中の患者さんはどこに行けばよいのでしょうか。

当院としては、慢性期病床(療養病床)の病床数の削減を最低限にすることと、地域医療構想に対応することのできるバランスの取れた病棟再編を考えていきます。その1つとして今年の4月からDPC(包括医療費支払制度)に参入します。DPCに関しては患者様、地域の皆様に色々ご協力をお願いすることになります。DPCにつきましては改めてご説明させていただきます。

当院の将来は、あくまでも地域の皆様に信頼され応援してもらえる病院となり、地域医療を守り、地域の発展、活性化に貢献することにかかっていると思います。そのことが当院が生き残るための唯一の道だと信じています。そのためには当院が開設以来取り組んできた地域包括医療・ケアシステムをさらに進めていかなければなりません。これからは、今まで以上に病院での医療だけでなく在宅医療、在宅介護、保健、福祉に力を入れ、赤ちゃんからお年寄りまで安心して生活できる町づくりに病院及び関連施設の職員が一丸となって協力してまいりますので、地域住民の皆様はもちろん関係機関の方々にもご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後にお知らせです。昨年4月からは常勤医師の減少で患者様、地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、今年2月8日からは小児科の常勤医(小児の入院治療も可能になります)、4月からは内科医1名の採用が決まりました。又、10月から1名の内科医の採用も決まっています。さらに、現在建設中の看護学校と健康管理センターは11月末に竣工予定です。



上天草総合病院と30年間のお付き合いを振り返って

本原内科小児科医院

院長 本原 邦彦 先生

住所 熊本県天草市栖本町湯船原735-1

電話 0969-66-2010

私は永年勤務していた熊本大学附属病院から昭和62年春に上天草総合病院内科へ赴任しました。それから30年の節目を少し振り返ってみます。

当時の病院の建物は現在の病院前の県道をはさんだ反対側で現在の龍ヶ岳町支所の建物でした。今の病院の敷地は当時はまだ海でした。私が赴任当時は内科常勤医は樋口定信元院長先生と小松良治先生と私の三人だけで結構ハードな勤務でした。その後、現院長の坂本興美先生や数名の内科医の先生方が赴任してこられ少し時間に余裕を持って勤務ができるようになりました。遠い思い出話ですが当時から歴代の院長先生方は岡崎先生も樋口先生も医師集めには大変ご苦労なさっておられ地方中核病院での医師確保の困難さは今も昔も少しも変わっていないようです。

私は上天草総合病院で約3年間勤務させていただいた後に父親の健康上の都合で平成元年に栖本町で父の後を継いで開業しました。開院当時は私もまだ30代で気力も体力も充実していましたので有床診療所体制で週末も含めてほぼ24時間地域の患者様に対応していました。しかし医師一人に対応できる診療範囲は限られており自院での対応困難患者様を上天草総合病院の先生方には随分助けていただきました。助けていただいている状況は今でも変わりません。坂本院長先生、樋口先生はじめ診療スタッフの先生方、パラメディカルの皆様、この紙面をお借りして改めて御礼を申し上げます。上天草総合病院は当院からは地理的にはやや不便ではありますが以前に自分が勤務していたと言うO. B. 感覚もあってか、つついお願いしやすい甘えもあってこれからも色々ご相談させていただくことと思います。

何かの御縁で上天草総合病院で樋口先生や坂本先生と出会った30年前と比べれば医療は検査法も治療方法も予防医学も随分と進歩しました。でも進歩した分の恩恵で病人の数が減って我々医療従事者の仕事量が減少したかと言うと不思議とそうではない。平均寿命がのびて一人あたりの医療需要は昔よりさらに増えたのではないかとも思われ、今後もますますのサポートをお願い致します。

生まれ故郷の天草へ帰ってきて現在までの30年間の臨床医生活を振り返れば、私が主治医を務めさせていただいた初期の頃の御年配の患者様方はもうほとんど亡くなられてしまった。30年前はすこぶる健康だった私の父も母もそして私の家内も彼女の両親ももうこの世を去ってしまった。一方で30年前に幼児だった長男とまだ当時は丁度母親のお腹の中にいた次男はそれぞれ消化器内科医、脳神経外科医になり私の外来診療を時々手伝ってくれるまでになった。腹部や頭部のCT画像をWチェックしてく

れるまではいいが、時々私の処方勝手に変更しやがるまでの一端の医師に成長しつつある。永い時の流れの中ではいろんな変化を否応なしに経験させられる。去って逝ってしまった愛おしい家族たち、かたや幼子から次世代を担う青年世代へと育ちあがって親元を離れていく子供達。いつの間にか私は一人暮らしの生活が永くなってしまったが時の流れは美しくもあり、哀しくもまた時には優しいひと時も感じながら30年の時を過ごしてきた。

今でも当時と変わらないこと。それは樋口先生を囲んでお酒を酌み交わし語らえるひと時を今でも楽しめていること。坂本院長先生に今でも気軽に患者さんの紹介をさせて頂けること。先生、お願いします。の一言でいつもニコニコ受けてくださる坂本先生の姿勢は30年前と少しも変わらない。また元病院職員さんが今でも時々自宅へ酒を飲みを訪ねられる。30年の時の流れの中で変わっていったことが多いが少しも変わらないこの様な絆を私はこれからも大切にしていきたい。

今年で63歳になります。もう頑張らないけど、でもあきらめないでそして誠実に残された臨床医としての現役生活をあと数年過ごしてみようと思います。

上天草総合病院の皆様、もうしばらく、現役引退までよろしくお願いします。そしてそう遠くない将来に息子たちとバトンタッチしたら親子三代でさらにお世話になることと思います。今後、ますますの貴院の発展を願っています。

PS: 顔写真を添付するよう指示を頂きました。私が作出した最新のリカステ(洋蘭の一種)の写真を顔写真代わりとさせていただきます。こちらは栽培歴25年。最近ではリカステのトップブリーダーとして全国区で頑張っています。



養護教員対象

色覚異常児童生徒への対応講座を開催

副院長兼眼科部長

竹下 哲二

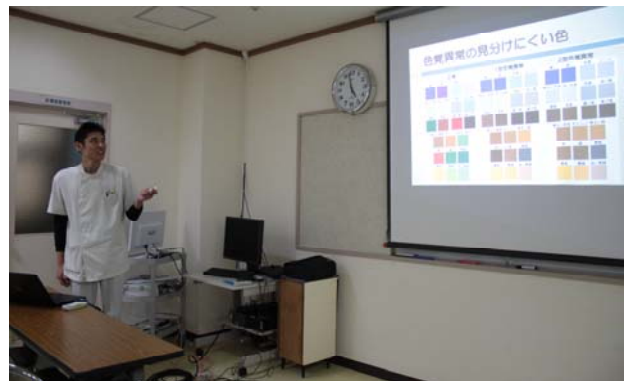
去る12月25日、当院会議室において、色覚異常の児童生徒に対する検査と指導についての講演を行いました。これは上天草市内の小中学校養護教員からの要請で行われたもので、女性の先生ばかり18名が参加されました。

私が冒頭に、これまでの国の政策の変化を説明し、色覚異常者への対応の現状について説明しました。続いて色覚異常に詳しい蕪（かぶら）視能訓練士が色覚異常者の目には周りの世界がどう見えているのかの疑似的映像を見せたり、進学や就職に注意が必要なケースについて1時間ほど話をしました。色覚異常者は日常生活で支障を感じることがないため、検査を行わないと本人やクラスメイトが気づかないこともあります。色覚異常が判明することがいじめにつながるといわれ、一時期は検査廃止とされました。

しかしその後、自分が色覚異常であることに気づいていない生徒たちが進学や就職の際に色覚異常を理

由に進路を絶たれるケースが相次ぎ、再び検査の必要性が指摘されています。

講義ではプライバシーに配慮した検査の行い方や個別指導の仕方などについて質問が相次ぎ、教育の現場で先生方が苦勞されていることがこちらにも伝わってきました。



研修会・勉強会の行事予定表

2月9日(火)	マザークラス おっぱいマッサージ・妊娠経過・母児同室について	13:30～ 当院6階講堂
2月17日(水)	S-QUE院内研修1000'Eナース 「急性期から在宅につなげる看護連携」 講師；三輪 恭子 氏 (淀川キリスト教病院 地域医療センター看護師)	17:40～ 当院6階講堂
2月19日(金)	ハートリハビリテーション教室 日常生活について Part 3 講師；副院長兼循環器内科部長 脇田 富雄 看護師 東川 佳奈枝 栄養科	13:30～ 当院6階講堂
2月20日(土)	上天草総合病院学会	8:00～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122 (代表)』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○1月下旬、寒気団にスッポリ覆われた九州は暖冬が一変して、大雪に見舞われた。道路はチェーン規制がかかり、往来もままならない。すこしばかり日が差したかと思うとすぐ曇り、雪が降る。昼間でも薄暗い冬の一日に雪国もかくやあらんと思われた。あらためて、「平常通り」の有難さを感じた。(福田)

○先日の大雪。熊本から時速30km程度でヒヤヒヤしながら運転して帰って来た。家まであと1kmのところまで車がスリップし、全く動かず、道の真ん中で止まってしまった。何度となくエンジンをかける音で、「どがんした？」とおじさんが車に近寄ってきて、事情を説明すると、「どら」と車を空地まで押してくださった。雪が深々と降る寒い夜、おじさんの優しさに心はほっこり温かくなり、体にあたる雪も心地よく感じながら家路へと向かった。(森口)

2月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科)	坂本 興美 和田 正文 石塚 俊紀 熊大代謝内科	和田 正文 谷口 純一 応援医師	樋口 定信 坂本 興美 石塚 俊紀 石塚 志穂	樋口 定信 和田 正文 石塚 俊紀 守田 雄太郎	坂本 興美 中本 弘作 応援医師	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	25日(木) 26日(金)
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
小児科	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	
<small>しまぶくろ ひろし</small> 2月8日より 小児科 島袋 浩 医師の着任に伴い、外来診療は下記の通り変更となります。						
2月8日~ →	田原 正英	島袋 浩 (田原 正英)	田原 正英	島袋 浩 (田原 正英)	田原 正英	
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時~】 久米慎一郎 (岩橋 頌二)	藤松 晃一	12日(金)
※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸 國友 耕太郎	福田 誠 城野 英利	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	25日(木) 26日(金)
※午後は、1時~4時30分まで受付けます。						
教良木診療所 応援	樋口 定信	坂本 興美	応援	応援	石塚 俊紀 (午前・午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分~11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※歯科口腔外科は月~金の午後も診療を行います。

※内科は木の午後5時~午後6時まで診療を行います。